



令和 8年 7月 5日号 ①



- スマホで始める 3D 体験 【受講者募集】
- 「イ」の字ゆかりの地から始まるアート散歩【参加者募集】

[発行元] 浜松市西部協働センター 広沢1丁目21番1号 電話452-0734

《地域文化セミナー》 「イ」の字 100周年記念

～高柳健次郎から 100周年 次世代映像体験ワークショップ～



スマホで始める 3D 体験～撮影から VR まで

電子式テレビを生み出した浜松出身の科学者・高柳健次郎氏。1926年、旧浜松高等工業学校での実験で、世界で初めてブラウン管に「イ」の字を電子的に表示することに成功しました。西部協働センターはその歴史的な場所に立っています。

成功からちょうど100年となる今年、この記念すべき地で3D撮影講座を開催します。デジタル技術は飛躍的に進化し、二次元から三次元の立体映像へ。今やテレビ、映画、ゲームなど、3D画像は身近な存在です。

本講座では、ちょっとしたコツを覚えるだけで、誰でも簡単に3D映像が作成できます。参加者の皆さんに3D撮影を体験していただき、最後にはVRゴーグルで自分で撮影した3Dの世界に没入していただきます。歴史と最新テクノロジーが融合したこの機会に、3D映像の可能性と楽しさを発見してください。

開催日時 **8月16日(日) 10:00～12:00**

講師 **村野正景先生(静岡大学大学院情報学領域 准教授)**

場所 **西部協働センター 1階 101 講座室**

受講料 **無料**

定員 **20人(小学5年生以上)**

持ち物 **スマートフォンまたはタブレット**



3D撮影体験イメージ動画

※事前にScaniverse (スキャニバース) というアプリのダウンロードをお願いします。 <https://scaniverse.com/>

申込期限 **8月7日(金) 17:15まで**

・先着順ではありません。

・定員を超えた場合は事務局で抽選させていただきます。



スキャニバース

当選結果 **受講が決定された方へのみ、8月10日(金)以降に電話又はメールにてご連絡します。**

下記事項をご了承の上、申込①・② いずれかの方法でお申し込みください。

- ・担当講師の都合や天候その他やむを得ない事情により講座の内容を変更、又は中止させていただく場合があります。
- ・体調が不良の場合は参加を見合わせてください。
- ・講座風景を撮影し、市の刊行物やウェブ等に掲載させていただく場合があります。
- ・駐車台数に限りがあるため、徒歩、自転車、公共交通機関等での来所にご協力ください。

申込①	西部協働センター窓口または電話(053-452-0734) 8:30～17:15 ※日曜・祝日を除く
申込②	インターネット(右の二次元コードからアクセスし、お申し込みください。) (二次元コードを読み取れない方は、浜松市ホームページから) HP > 中央区 > 中央区支所・協働センター > 中央区協働センター通信 > > 西部協働センター > 講座・セミナー申込み > ●●講座申込み ※申込期間・当選確認日は講座によって異なります。各講座の案内をご覧ください。



裏面もご覧ください

「イ」

《静岡大学「イの字100周年」連携事業》

の字ゆかりの地から始まる アート散歩



1926年、高柳健次郎氏がテレビ画面に映し出した歴史的な「イ」の字から100年。浜松市西部協働センター周辺から美術館までの街を舞台に、日常に隠れた「イ」の字を探すアート散歩へ出かけませんか？

看板の文字等あなたのスマートフォンで撮った「イ」の字は、やがて一つの大きなアート作品へと生まれ変わります。テレビ発祥地の歴史を身近に感じながら創造的で楽しいアートの体験をしましょう。

開催日時 8月15日(土) 10:00~11:30

講師 村野正景先生(静岡大学大学院情報学領域 准教授)

定員 15名

申込 先着 7/15(水) 13:00より専用フォームで受付開始。

今回は浜松市美術館の「現代アート展」(開催期間 6/20~8/30)のイベントとなります。お申込は下の二次元コードからお願いします。

参加費 無料 ※公園の駐車場をご利用の場合、駐車料金はご自身でお支払いください。

持ち物 スマートフォン(撮影用)

その他 歩きやすい靴・服装でお越しください。

飲み物等は適宜ご用意ください。

散歩ルート 浜松市美術館前集合→西部協働センター→浜松市美術館解散



ーー

「ここからテレビが生まれた」~高柳健次郎の偉業~

西部協働センターが位置するこの地は、テレビ放送の歴史において極めて重要な場所です。日本の電子テレビの父・高柳健次郎は、1926年、浜松市の実験室において、世界で初めてブラウン管に映像を映し出す実験に成功されました。(カタカナの「イ」の字の表示) 当時、海外ではすでに機械式テレビが主流だった時代に、受像に電子式(ブラウン管)を採用するという新しい道を切り開き、日本から世界に先駆けた偉大な発明をもたらしました。この偉業を生み出したこの地は、高柳健次郎が創造への第一歩を踏み出したゆかりの場所です。高柳健次郎の先見性と不屈の精神を後世に伝え、地域の誇りとして共有していきましょう。

- 1899年 高柳健次郎誕生
- 1924年 浜松高等工業学校助教授。テレビジョンの研究開始
- 1926年 「イ」の字の送像・受像に成功
- 1930年 テレビジョンの実験を天皇陛下へ供覧する
- 1937年 高柳教授、NHK 技研に向向
テレビ開発のリーダーとなる
- 1948年 NHK 技研戦後初めてテレビジョン実験を一般公開
- 1953年 NHK テレビジョン本放送開始(白黒)
- 1960年 NHK カラーTV 放送開始
- 1981年 文化勲章受章
- 1990年 逝去(91歳)

